



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 旭化成株式会社 上場取引所 東名札福
 コード番号 3407 URL <http://www.asahi-kasei.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤原 健嗣
 問合せ先責任者(役職名) 広報室長 (氏名) 山崎 真人 (TEL) 03(3296)3008
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	918,984	16.7	74,295	94.0	72,886	103.2	46,649	126.3
25年3月期第2四半期	787,508	0.4	38,305	△39.9	35,866	△42.3	20,613	△46.1

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 70,475百万円 (一%)
 25年3月期第2四半期 2,145百万円 (△94.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	33.38	—
25年3月期第2四半期	14.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	1,852,288	884,707	47.1	624.00
25年3月期	1,800,170	824,451	45.1	581.05

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 872,054百万円 25年3月期 812,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	1,904,000	14.2	145,000	57.7	143,000	50.3	86,000	60.1	61.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項（詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。）

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	1,402,616,332株	25年3月期	1,402,616,332株
----------	----------------	--------	----------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	5,102,882株	25年3月期	5,016,645株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	1,397,557,552株	25年3月期2Q	1,397,673,890株
----------	----------------	----------	----------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
4. 補足情報	12
(1) セグメント別売上高及び営業利益	12
(2) 連結営業損益 増減要因(対前年同四半期連結累計期間)	13
(3) 主要項目の状況(連結)	13
(4) 住宅 建築請負事業の状況	13
(5) その他の項目	14
(6) 有利子負債残高(連結)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 業績全般

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月～9月、以下「当第2四半期」)における世界経済は、米国は緩やかな回復傾向にあり、中国を中心とした新興国の成長鈍化や欧州経済の低迷にも一部底入れの兆しが見られましたが、依然として下振れリスクを抱えており、全体として景気は弱含みな状況で推移しました。また、日本経済についても、政府の経済政策への期待などにより円安・株高が進行し、個人消費が持ち直すなど景況感は改善されつつありますが、実体経済としては回復途上にあり、予断を許さない状況にあります。

このような状況の中で、当社、連結子会社及び持分法適用会社(以下「当社グループ」)の当第2四半期における連結業績は、住宅事業において引渡戸数が増加したことや、ケミカル事業及び医薬事業において販売量が増加したこと及び円安の進行により輸出事業全般の採算が改善したことなどから、売上高は9,190億円で前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)1,315億円(16.7%)の増収となり、営業利益は743億円で前年同期比360億円(94.0%)の増益、経常利益は729億円で前年同期比370億円(103.2%)の増益、四半期純利益は466億円で前年同期比260億円(126.3%)の増益となりました。

② セグメント別概況

当社グループの7つの報告セグメント「ケミカル」「繊維」「住宅」「建材」「エレクトロニクス」「医薬・医療」「クリティカルケア」及び「その他」に区分してご説明します。なお、第1四半期より、ケミカル・繊維、住宅・建材、エレクトロニクス、ヘルスケアの4事業領域の区分に基づき、事業セグメントの記載順番を見直しました。

また、「クリティカルケア」セグメントは、前第2四半期では平成24年4月27日以降の業績を開示していましたが、当第2四半期は全期間の業績を連結対象としています。

「ケミカル」セグメント

売上高は3,970億円で前年同期比647億円(19.5%)の増収となり、営業利益は232億円で前年同期比86億円(59.1%)の増益となりました。

石化・モノマー系事業は、アクリロニトリルの市況が低水準で推移したことや、原燃料価格の高騰による影響を受けましたが、円安の効果に加え、スチレンモノマーの市況が改善しました。ポリマー系事業は、ポリエチレンなどが原燃料価格の高騰による影響を受けましたが、円安の効果に加え、エンジニアリング樹脂や省燃費タイヤ向け合成ゴムの販売が堅調に推移しました。高付加価値系事業は、イオン交換膜を中心とした円安の効果に加え、添加剤事業やコーティング事業などの販売が堅調に推移しました。以上により、セグメント全体では増収・増益となりました。

「繊維」セグメント

売上高は598億円で前年同期比59億円(11.0%)の増収となり、営業利益は44億円で前年同期比27億円(152.7%)の増益となりました。

各製品において原燃料価格の高騰による影響を受けましたが、円安の効果に加え、人工皮革「ラムースTM」のカーインテリア向けなどの不織布やポリウレタン弾性繊維「ロイカTM」の販売量が増加し、再生セルロース繊維「バンベルグTM」の販売も堅調に推移したことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

「住宅」セグメント

売上高は2,384億円で前年同期比253億円(11.9%)の増収となり、営業利益は265億円で前年同期比77億円(40.9%)の増益となりました。なお、建築請負事業の受注高は2,519億円で、前年同期比444億円(21.4%)の増加となりました。

建築請負事業は、好調な受注実績を背景に、戸建住宅「ヘーベルハウスTM」や集合住宅「ヘーベルメゾンTM」の引渡戸数が増加しました。また、不動産事業は賃貸管理事業を中心に順調に推移し、リフォーム事業でも大

型改築・改装工事などの受注が好調に推移したことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

「建材」セグメント

売上高は278億円で前年同期比30億円(12.1%)の増収となり、営業利益は31億円で前年同期比15億円(92.7%)の増益となりました。

軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベルTM」の販売量が増加し、中小型パイル工法「イーゼットTM」・「ATTコラムTM」では新規用途の開拓などにより受注が拡大しました。また、高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマTMフォーム」や構造資材事業の販売も堅調であったことなどから、セグメント全体では増収・増益となりました。

「エレクトロニクス」セグメント

売上高は747億円で前年同期比78億円(11.6%)の増収となり、営業利益は93億円で前年同期比93億円の増益となりました。

電子部品系事業では、各製品において販売価格の下落の影響を受けましたが、円安の効果に加え、スマートフォンなど携帯端末向けで電子コンパスや磁気センサなどの販売量が増加しました。電子材料系事業では、円安の効果に加え、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポアTM」をはじめとした各製品における高機能領域の販売が順調に推移しました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

「医薬・医療」セグメント

売上高は758億円で前年同期比110億円(16.9%)の増収となり、営業利益は164億円で前年同期比89億円(118.8%)の増益となりました。

医薬事業では、販管費が増加しましたが、骨粗鬆症治療剤「テリボンTM」や血液凝固阻止剤「リコモジュリンTM」を中心に販売量が増加しました。医療事業では、血液浄化事業などにおける円安の効果に加え、ウイルス除去フィルター「プラノバTM」の販売量が増加しました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

「クリティカルケア」セグメント

売上高は375億円で前年同期比146億円(64.0%)の増収となり、事業利益(*)は46億円で前年同期比5億円(11.4%)の増益、営業損失は20億円で前年同期比9億円の減益となりました。なお、買収に伴うのれん及びその他無形固定資産の償却などの影響は、前年同期比14億円増加し66億円でした。

着用型自動除細動器「LifeVestTM」の業績が順調に拡大し、医療機関向け除細動器なども堅調でしたが、営業活動強化のため販管費が増加しました。また、連結対象期間の差異による影響などから、セグメント全体では増収・減益となりました。

(*)事業利益：ZOLL Medical Corporationを買収したことに伴い計上したのれん及びその他無形固定資産の償却などの影響を除いた営業利益

「その他」

売上高は80億円で前年同期比9億円(9.9%)の減収となり、営業利益は8億円で前年同期比4億円(31.1%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、「住宅」セグメントを中心としてたな卸資産が288億円、有形固定資産が117億円、保有株式の時価が上昇したことなどにより投資有価証券が112億円増加したことなどから、前連結会計年度末(以下「前年度末」)に比べて521億円増加し、1兆8,523億円となりました。

有利子負債は、コマーシャル・ペーパーが200億円減少したことなどから、前年度末に比べて210億円減少し、3,604億円となりました。

純資産は、配当金の支払98億円があったものの、四半期純利益を466億円計上したことや、為替換算調整勘定が130億円増加したことなどから、前年度末に比べて603億円増加し、8,847億円となりました。

この結果、自己資本比率は47.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加249億円、法人税等の支払額157億円などによる支出があったものの、税金等調整前四半期純利益713億円、減価償却費412億円などの収入があったことから、874億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出405億円、無形固定資産の取得による支出101億円などがあったことから、502億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパーの減少200億円や配当金の支払額98億円、長期借入金の返済による支出72億円などがあったことから、347億円の支出となりました。

これらに加え、現金及び現金同等物の為替換算による増加額17億円などがあったことから、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前年度末より42億円増加し、1,082億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日に公表した当連結会計年度の連結業績予想に対し、「テリボンTM」など医薬品の販売が好調な「医薬・医療」セグメントや、円安の効果に加え、販売が堅調に推移している「エレクトロニクス」セグメントにおいて増収・増益となることなどから、グループ全体としては、売上高については増収、営業利益、経常利益、当期純利益についてもそれぞれ増益となる見込みです。

以上により、前回公表の連結業績予想を修正しました。

(通期)

(単位：億円)

	前回公表(A) 平成25年5月9日公表	今回公表(B)	増減額 (B-A)	前連結会計年度 実績
売上高	18,910	19,040	130	16,666
営業利益	1,300	1,450	150	920
経常利益	1,300	1,430	130	951
当期純利益	770	860	90	537

なお、配当金につきましては、第2四半期末配当を7円とし、1株当たりの年間配当金を14円とさせていただきます。

(注) これらの業績予想は、以下を前提条件としています。

ナフサ価格¥67,000/k1、為替レート¥98/\$・¥130/€(第3、第4四半期連結会計期間平均)

ナフサ価格¥65,850/k1、為替レート¥98/\$・¥130/€(当連結会計年度平均)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	109,513	112,365
受取手形及び売掛金	306,222	304,535
有価証券	124	10
商品及び製品	145,470	155,311
仕掛品	100,513	119,361
原材料及び貯蔵品	63,695	63,830
繰延税金資産	21,945	22,845
その他	73,619	69,922
貸倒引当金	△1,631	△1,807
流動資産合計	819,469	846,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	428,616	444,900
減価償却累計額	△241,191	△247,103
建物及び構築物 (純額)	187,425	197,797
機械装置及び運搬具	1,236,111	1,273,474
減価償却累計額	△1,082,480	△1,110,150
機械装置及び運搬具 (純額)	153,631	163,324
土地	58,176	58,162
リース資産	13,980	14,045
減価償却累計額	△7,173	△8,414
リース資産 (純額)	6,806	5,631
建設仮勘定	41,482	31,738
その他	129,716	135,763
減価償却累計額	△115,656	△119,135
その他 (純額)	14,060	16,628
有形固定資産合計	461,581	473,279
無形固定資産		
のれん	134,303	136,220
その他	121,114	120,195
無形固定資産合計	255,417	256,416
投資その他の資産		
投資有価証券	224,903	236,142
長期貸付金	5,248	4,750
繰延税金資産	8,487	9,611
その他	25,311	25,944
貸倒引当金	△245	△228
投資その他の資産合計	263,704	276,219
固定資産合計	980,702	1,005,915
資産合計	1,800,170	1,852,288

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	172,630	169,524
短期借入金	113,043	116,615
コマーシャル・ペーパー	70,000	50,000
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
リース債務	2,415	2,122
未払費用	91,646	86,307
未払法人税等	13,978	20,859
前受金	61,953	80,695
修繕引当金	2,359	6,442
製品保証引当金	2,143	2,077
固定資産撤去費用引当金	1,910	3,743
資産除去債務	722	629
その他	65,064	53,151
流動負債合計	602,864	597,165
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	146,929	143,515
リース債務	4,051	3,169
繰延税金負債	39,985	46,490
退職給付引当金	107,776	108,641
役員退職慰労引当金	767	737
修繕引当金	4,255	775
固定資産撤去費用引当金	2,960	933
資産除去債務	2,834	3,518
長期預り保証金	18,396	18,225
その他	4,902	4,413
固定負債合計	372,855	370,416
負債合計	975,719	967,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,389	103,389
資本剰余金	79,403	79,403
利益剰余金	553,557	590,423
自己株式	△2,431	△2,490
株主資本合計	733,918	770,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,622	72,300
繰延ヘッジ損益	△900	△410
為替換算調整勘定	16,440	29,440
その他の包括利益累計額合計	78,162	101,330
少数株主持分	12,371	12,653
純資産合計	824,451	884,707
負債純資産合計	1,800,170	1,852,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	787,508	918,984
売上原価	585,213	665,783
売上総利益	202,295	253,201
販売費及び一般管理費	163,990	178,906
営業利益	38,305	74,295
営業外収益		
受取利息	756	559
受取配当金	1,585	1,848
持分法による投資利益	26	—
その他	1,682	2,601
営業外収益合計	4,049	5,008
営業外費用		
支払利息	1,560	1,735
持分法による投資損失	—	1,755
為替差損	1,689	329
その他	3,240	2,598
営業外費用合計	6,489	6,417
経常利益	35,866	72,886
特別利益		
投資有価証券売却益	—	319
固定資産売却益	38	1,479
特別利益合計	38	1,797
特別損失		
投資有価証券評価損	53	580
固定資産処分損	1,585	1,427
減損損失	511	—
事業構造改善費用	969	1,422
特別損失合計	3,118	3,430
税金等調整前四半期純利益	32,786	71,254
法人税等	11,750	24,103
少数株主損益調整前四半期純利益	21,036	47,151
少数株主利益	422	502
四半期純利益	20,613	46,649

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,036	47,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,261	9,604
繰延ヘッジ損益	1,570	489
為替換算調整勘定	△14,764	13,029
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,435	203
その他の包括利益合計	△18,890	23,325
四半期包括利益	2,145	70,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,979	69,816
少数株主に係る四半期包括利益	166	659

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	32,786	71,254
減価償却費	37,382	41,212
減損損失	511	—
のれん償却額	3,173	4,384
負ののれん償却額	△116	△116
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△2,424	599
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△218	△72
固定資産撤去費用引当金の増減額 (△は減少)	△1,326	△195
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,158	805
受取利息及び受取配当金	△2,341	△2,407
支払利息	1,560	1,735
持分法による投資損益 (△は益)	△26	1,755
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△319
投資有価証券評価損益 (△は益)	53	580
固定資産売却損益 (△は益)	△38	△1,479
固定資産処分損益 (△は益)	1,585	1,427
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,422	5,004
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△30,126	△24,860
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,665	△5,710
未払費用の増減額 (△は減少)	△11,713	△6,051
前受金の増減額 (△は減少)	12,890	18,576
その他	△10,241	△4,403
小計	35,773	101,720
利息及び配当金の受取額	3,147	3,091
利息の支払額	△1,754	△1,710
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△7,246	△15,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,920	87,408
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,560	△3,061
定期預金の払戻による収入	5,560	4,873
有形固定資産の取得による支出	△41,061	△40,544
有形固定資産の売却による収入	155	2,137
無形固定資産の取得による支出	△7,469	△10,055
投資有価証券の取得による支出	△1,553	△3,531
投資有価証券の売却による収入	503	971
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△174,308	△1,697
連結子会社株式の追加取得による支出	△1,310	—
貸付けによる支出	△6,631	△4,744
貸付金の回収による収入	4,285	5,837
その他	△1,186	△387
投資活動によるキャッシュ・フロー	△228,576	△50,201

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	32,130	2,166
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	102,000	△20,000
長期借入れによる収入	85,528	1,864
長期借入金の返済による支出	△6,431	△7,203
社債の発行による収入	20,000	—
リース債務の返済による支出	△1,242	△1,303
自己株式の取得による支出	△20	△60
自己株式の処分による収入	3	0
配当金の支払額	△9,784	△9,783
少数株主への配当金の支払額	△673	△552
その他	△88	149
財務活動によるキャッシュ・フロー	221,423	△34,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,659	1,705
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,108	4,190
現金及び現金同等物の期首残高	96,351	104,008
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	102	1
関係会社の報告期間変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,327	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	108,235	108,199

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

第1四半期より、ケミカル・繊維、住宅・建材、エレクトロニクス、ヘルスケアの4事業領域の区分に基づき、事業セグメントの記載順番を見直しました。

(1) セグメント別売上高及び営業利益

(a) 連結売上高

(億円)

	H25/3期	H26/3期	増減額		増減率 %	H25/3期	H26/3期
	第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績				連結会計 年度実績	連結会計 年度見通し
ケミカル	3,323	3,970	647	19.5	6,846	8,000	
繊維	539	598	59	11.0	1,096	1,200	
住宅	2,130	2,384	253	11.9	4,862	5,320	
建材	248	278	30	12.1	515	570	
エレクトロニクス	669	747	78	11.6	1,311	1,490	
医薬・医療	648	758	110	16.9	1,335	1,500	
クリティカルケア	229	375	146	64.0	521	780	
その他	89	80	△9	△9.9	180	180	
合計	7,875	9,190	1,315	16.7	16,666	19,040	

(b) 連結営業利益

(億円)

	H25/3期	H26/3期	増減額		増減率 %	H25/3期	H26/3期
	第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績				連結会計 年度実績	連結会計 年度見通し
ケミカル	146	232	86	59.1	229	430	
繊維	17	44	27	152.7	40	85	
住宅	188	265	77	40.9	543	600	
建材	16	31	15	92.7	40	60	
エレクトロニクス	0	93	93	—	28	160	
医薬・医療	75	164	89	118.8	159	280	
クリティカルケア	△11	△20	△9	—	△37	△35	
その他	12	8	△4	△31.1	22	15	
小計	443	816	373	84.4	1,025	1,595	
消去又は全社	△60	△73	△14	—	△105	△145	
合計	383	743	360	94.0	920	1,450	

(2) 連結営業損益 増減要因(対前年同四半期連結累計期間)

(億円)

	数量差	売値差	内 為替因	コスト差等	計
ケミカル	12	268	273	△194	86
繊維	5	38	37	△16	27
住宅	83	3	—	△10	77
建材	7	2	—	5	15
エレクトロニクス	18	32	93	44	93
医薬・医療	82	36	34	△29	89
クリティカルケア (注)	23	9	0	△41	△9
その他	△1	—	—	△3	△4
小計	229	387	437	△242	373
消去又は全社	—	—	—	△14	△14
合計	229	387	437	△256	360

(注) 連結対象期間の差異による影響は「コスト差等」に含めています。

(3) 主要項目の状況(連結)

		H25/3期	H26/3期	H26/3期
		第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績	連結会計 年度見通し
設備投資額(有形)	億円	464	357	845
設備投資額(無形)	億円	85	44	130
減価償却費	億円	374	412	895
金融収支 (内 受取配当金)	億円	7 (16)	6 (18)	9 (31)
研究開発費	億円	351	345	720
四半期末人員	人	28,433	29,210	
D/Eレシオ		0.59	0.41	

(注) 減価償却費は有形と無形の合計額

(4) 住宅 建築請負事業の状況

		H25/3期	H26/3期	増減	増減率 %	H26/3期
		第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績			連結会計 年度見通し
受注戸数	戸	9,251	11,067	1,816	19.6	19,410
受注高	億円	2,075	2,519	444	21.4	4,440
受注残高	億円	4,415	5,199	784	17.8	5,056
売上戸数	戸	6,528	7,236	708	10.8	16,930
売上高	億円	1,578	1,766	188	11.9	3,830

(5) その他の項目

		H25/3期	H26/3期	増減	H26/3期 連結会計 年度見直し
		第2四半期 累計実績	第2四半期 累計実績		
ナフサ価格(国産ナフサ)	¥/kl	55,200	64,700	9,500	65,850
為替レート(相場平均)	¥/\$	79	99	19	98
	¥/€	101	130	29	130

(6) 有利子負債残高(連結)

(億円)

	前年度末 実績	当第2四半期末 実績	増減額
短期借入金	1,130	1,166	36
コマーシャル・ペーパー	700	500	△200
1年内償還予定の社債	50	50	—
長期借入金	1,469	1,435	△34
社債	400	400	—
リース債務	65	53	△12
合計	3,814	3,604	△210